

## 『立命館産業社会論集』第51巻（第1～4号）総目次

## 第51巻第1号

荒木穂積教授・櫻谷眞理子教授・佐藤春吉教授・峰島 厚教授・門田幸太郎教授退職記念号

## 退職記念

荒木穂積先生，櫻谷眞理子先生，佐藤春吉先生，峰島 厚先生，門田幸太郎先生の定年ご退職にあたって 有賀 郁敏	1
退職記念最終講義「発達保障の誕生から50年」 荒木 穂積	3
荒木穂積教授 略歴と業績	
高機能自閉症スペクトラム障害を持つ若者の発達課題 竹内 謙彰	29
対人援助職養成における「発達教育」の展開 中村 隆一	41
A New Approach for Assessment of Child Development in Vietnam : Developing Tools as Developmental Checklist for Children グエン・ティ・ホアン・イエン，チャン・ティ・ミン・タイン，ディン・グエン・チャン・ツウ， ダオ・ビク・ツウイ，荒木 穂積，竹内 謙彰，富井 奈菜実，松元 佑	55
退職記念最終講義「個を大切に作るデンマークの保育に学ぶ—自立性と自己決定を重視した実践—」 櫻谷 眞理子	67
櫻谷眞理子教授 略歴と業績	
ひきこもる人と就労に向かう支援をめぐる 竹中 哲夫	85
子ども・子育て新制度における保育の質と課題 大橋 喜美子	101
退職記念最終講義「批判的社会科学を支える存在論を求めて—道半ばの拙ない思考をふりかえって—」 佐藤 春吉	115
佐藤春吉教授 略歴と業績	
退職記念最終講義「障害者の発達保障をめぐる課題」 峰島 厚	139
峰島 厚教授 略歴と業績	
生活困窮者支援における「生活障害論」の構築に向けて—障害者グループホームのとりくみから— 高木 博史	165

自立訓練（生活訓練）事業の教育的機能に関する一考察 伊藤 修毅 .....	177
「介護保険優先原則」をめぐる近年の動向と政策課題—運動の生起と自治体運用の問題を中心に— 荻原 康一 .....	193
<i>t</i> 分布理解のための Excel によるシミュレーション— <i>t</i> 分布の確率分布曲線の導出について— 門田 幸太郎 .....	215
門田幸太郎教授 略歴と業績 「絶句」の会話分析 平本 毅 .....	239
<b>論 文</b>	
南アフリカの民主化過程における女性運動と市民社会（上） 坂本 利子 .....	255
複合メディア環境における「メディア・イベント」概念の射程—〈仮設文化〉の人類学に向けて— 飯田 豊, 立石 祥子 .....	273
<b>研究ノート</b>	
既得権益の解消と隣保館運営の適正化—ポスト同和行政のまちづくり— リム ボン .....	289
高齢者の主観的健康状態に関するパネルデータ分析—配偶状態の影響の検討— 筒井 淳也 .....	297

### 第51巻第2号

#### 岡本茂樹教授追悼特集

#### 追悼 岡本 茂樹 教授

岡本茂樹先生のご逝去を悼む

有賀 郁敏 .....	1
岡本茂樹先生を偲んで	
倉知 延章 .....	3
竹下 三隆 .....	5
竹内 謙彰 .....	6
峰島 厚 .....	7
学部共同研究会報告「受刑者に対するロールレタリングを用いた支援の研究 —反省と更生に導くための重要な視点—」	
岡本 茂樹 .....	9
岡本茂樹教授 略歴と業績	

## 論 文

『交通東亞』とその周辺—戦争末期の旅行規制をめぐる軋轢— 赤井 正二	35
南アフリカの民主化過程における女性運動と市民社会（下） 坂本 利子	57
女性労働力参加の動態的理論枠組みに向けて—台湾を事例として— 竹内 麻貴	73
看護師の生活世界における看護の知—心に残っている看護体験のシュツツ理論による分析— 山中 恵利子	93
高齢者観の形成要因と変容の展望 手島 洋	113
コミュニティ心理学的実践の構成要素 飯田 香織	127
困難を抱える若者当事者のニーズに対応する支援に関する考察 奥井 千津子	145
高齢社会における地域公共交通の再構築と地方創生への役割 —三重県玉城町と長野県安曇野市におけるデマンド交通の事例から— 野村 実	157
<b>研究ノート</b>	
ライトノベルにおける「だ」で終わる発話文とキャラクター描写の関わり 下條 正純	177
韓国の「代案言論メディア」に関する理解—『ナコムス』『国民TV』『ニュース打破』の事例から— 森 類臣, 秋葉 武	191
2014年度学部共同研究会一覧	201
2014年度産業社会学会プロジェクト研究助成一覧	202
『立命館産業社会論集』第50巻（第1～4号）総目次	203
学会員（教員）研究動向〔2014.4～2015.3〕	207

## 第51巻第3号

## Special Section : Social Health Insurance as a Health Safety Net in Japan, the US, and France

Social Health Insurance as a Health Safety Net in Japan, the US, and France : An Introduction 松田 亮三	1
Is the Safety Net for Healthcare in Japan Fraying? : Employment, Health Insurance, and Public Assistance 長谷川 千春	5
Health Insurance and the Health Safety Net : The Affordable Care Act and its Effects on Safety Net Providers in the United States 高山 一夫	25

Universalism and Private Funding : The French Model of Universal Medical Coverage モニカ・ステフェン	37
Social Health Insurance as a Health Safety Net : Comments on Analyses of Health Care in Japan and the United States ジェームズ・ワーナー・ビヨルクマン	57
<b>論 文</b>	
江戸時代の超高齢者(2)—幕府領直島・宇和島藩・仙台藩1720-1872年史料に見る—(上) 高木 正朗	63
デジタル時代のオルタナティブ・メディア研究 —2000年以降の欧米先行研究から再考する「オルタナティブ」の概念と定義— 藤原 広美	87
施設数減少からみた母子生活支援施設の研究と実践の課題—戦後母子寮研究からの示唆— 武藤 敦士	105
<b>研究ノート</b>	
ガーナ国立舞踊団 (Ghana Dance Ensemble) における舞踊の練習に関する考察 相原 進, 遠藤 保子	125
カップルアイデンティティ (再) 構築に向けた看護職の役割とは —文献検討による「われわれ意識」の形成を促進する援助実践に対する考察— 小嶋 理恵子	135
<b>学位論文要旨および審査要旨</b>	
藤本 美貴「黎明期家族臨床研究をめぐる認識論的意義とその応用可能性—Bateson, Laing & Esterson, そしてアダルト・チルドレンを通じて—」	147
池田 さおり「高齢期の生活関係の形成と『生活力』—農村地域の事例研究と高齢者のライフストーリーの考察を通して—」	
張 鋭「中国における自閉症スペクトラム児の発達支援に関する研究」	
間庭 大祐「ハンナ・アレントの創設論における『始まり』の恣意性とその暴力性についての批判的検討」	

## 第51巻第4号

<b>論 文</b>	
大学の単位制度と学年暦—「1単位=45時間」と「1科目=1350分説(15週論)」— 仲井 邦佳	1
日中韓三か国における漢字教育の現状と課題 文 楚雄, 伊藤 隆司, 盧 載玉	13
江戸時代の超高齢者(2)—幕府領直島・宇和島藩・仙台藩1720-1872年史料に見る—(中) 高木 正朗	35
軍務に精勤した学徒兵たちのライフストーリー研究 渡辺 祐介	59

**特集 批判的实在論研究**

産業社会論集「批判的实在論特集」編纂にあたって

佐藤 春吉…………… 83

**第1部 批判的实在論研究論考**

メカニズムの発見およびその同定基準について—バスキアの科学哲学を足がかりとして—

中澤 平…………… 95

批判的实在論とリトロダクション—社会科学方法論の比較から—

木田 融男…………… 115

批判的实在論に基づいた2つの研究デザインによるトライアングレーションの試み

—インテンシヴおよびエクステンシヴ概念の再検討を通じて—

野村 優…………… 139

ボブ・ジェソップの政治分析—戦略・関係アプローチに基づく資本主義国家分析, その到達点と課題—

加藤 雅俊…………… 159

文化研究と批判的实在論—文化論的転回後の文化研究のために—

大月 功雄…………… 179

社会問題研究における社会構築主義と批判的实在論

中村 正…………… 191

批判的实在論を用いた社会疫学研究—Eastwoodらの研究を中心に—

松田 亮三…………… 213

**第2部 産業社会学部創設50周年記念国際交流企画**

「批判的实在論と社会科学におけるその可能性

—社会科学の基礎理論におけるオルタナティブ—」報告

第1報告「批判的实在論への導入」

バース・ダナーマーク, 堀 雅晴 訳…………… 227

第2報告「社会構造と人間エージェンシー」

ジャン・Ch. カールソン, 加藤 雅俊 訳…………… 235

第3報告「批判的实在論; その研究手法と研究デザイン」

ジャン・Ch. カールソン, 中澤 平 訳…………… 243

第4報告「批判的实在論の応用研究のためのガイドライン」

バース・ダナーマーク, 佐藤 春吉 訳…………… 269